

WEEKLY REPORT

事務局：460-0003

名古屋市南区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760@nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)11月10日

会長：森 裕之

幹事：村上 学

クラブ広報委員長：渡邊 将之

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2026-27年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーで素晴らしい体験をしよう、そしてより強い、より良いロータリーをつくらう」

2026-27年度

国際ロータリーのテーマ

持続可能なインパクトを生み出そう

第2184回例会

～基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2026年9月9日(水) 雨 第8回 ガバナー公式訪問

司会：名古屋南RC 会場委員長 長苗 宏樹さん
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
卓話：第2760地区 2026-27ガバナー 國府谷 俊盛 様
ゲスト：第2760地区 地区幹事 山田 哲也 様
ビジター：名古屋瑞穂RC名誉会員 パストガバナー 近藤 雄亮様

会長挨拶

名古屋南RC 片桐 満 会長

本日は、国際ロータリーが9月に定めている「基本的教育と識字率向上月間」についてお話しします。

まず「識字」とは、文字を読んだり書いたりできることを意味します。しかし、ここでいう識字は、単に自分の名前を書ける、文章を読めるというだけではありません。生活に必要な情報を理解し、自分の考えを伝え、社会の一員として自立して暮らしていくための力まで含まれています。

私たちは、学校に通い、文字の読み書きを学ぶことを当然のように感じています。しかし世界には、貧困や紛争、地域の慣習、学校や教師の不足など、さまざまな理由によって、十分な教育を受けられない子どもたちがいます。また、子どものころ学校へ通えなかったため、大人になっても読み書きに困難を抱えている人も少なくありません。

文字が読めないことは、日常生活のあらゆる場面に影響します。例えば、薬の説明書が読めない、仕事に応募するための書類が書けない、公共機関からの通知が理解できない、子どもの学校から届く連絡を確認できない、といった問題が起こります。

そのため、基本的教育と識字能力の向上は、教育の問題だけではなく、健康を守ること、安定した仕事を得ること、貧困から抜け出すこと、男女の格差をなくすこと、そして平和な地域社会をつくることにも深く関係しています。

特に、母親が読み書きの力を身につけることは、家庭全体に良い影響を与えるといわれています。健康や衛生に関する情報を理解できるようになり、子どもの教育にも関心をもちやすくなるからです。つまり、一人の学びを支援することが、次の世代の可能性を広げることにつながります。

ロータリーでは、基本的教育と識字率の向上を重点分野の一つとして、世界各地でさまざまな活動を行っています。

具体的には、学校や図書館への本や教材の寄贈、教室やトイレなどの学校設備の整備、経済的に困難な子どもへの奨学金、教師の育成、成人向けの読み書き教室、女子教育の支援などがあります。

私たちの地域でも、子どもへの読み聞かせ、学校への図書の寄贈、学習支援、外国人住民への日本語教育など、身近なところから取り組むことができます。

ただし、本や教材を届けるだけで終わるのではなく、その地域が本当に必要としているものを知ることが大切です。学校や地域の人々と話し合い、継続して学べる環境を一緒につくっていくことが、より効果的な支援につながります。

基本的教育と識字率向上月間は、教育を受けることの大切さを改めて考え、私たちに何ができるのかを見つめなおす月間です。

文字の一つ読めるようになること、本を一冊手にすること、学校で学ぶ機会を得ること。その一つひとつが、人生を変える力を持っています。

誰もが学び、読み書きの力を身につけ、自分らしく生きられる社会をつくるために、私たちも地域の課題に目を向け、できることから行動していきたいと思います。

この9月を、教育の意味とロータリーの役割について考える機会にしていいただければ幸いです。

出席報告

横山 清悟 出席副委員長

会員73名 出席35名(出席計算人数61名)

出席率 53.03%

ニコボックス

横山 清悟 ニコボックス委員

- ・ 國府谷ガバナーをお迎えして。9月20日は私の79才の誕生日です。
近藤 雄亮さん
- ・ 先週の妻の誕生日に素敵なお花を送っていただき、ありがとうございます。
小木曾 仁さん
- ・ 本日はガバナー訪問です。宜しくお願いいたします。 森 裕之さん
- ・ 國府谷ガバナーをお迎えして
野崎 洋二さん 松田 浩孝さん 本多 誠之さん
大和 直樹さん 加藤 直大さん
- ・ 先週の甲子園遠征はお疲れ様でした。翌日は野球での身体の痛みと、カラオケでの喉の痛みでつらかったです。
田中 宏さん
- ・ 甲子園、お疲れ様でした。最高の試合になりました。今日は昨日の雨で被害の出たご近所の片付けに行ってきます。これメイクアップになりませんか。
鈴木 淑久さん
- ・ 甲子園お疲れ様でした。初出場も叶い、最高の試合でした。そして神戸グルメでお腹いっぱいになりました。今日は昨日の雨で被害の出たご近所の片付けに行ってきます。
押村 宣広さん

幹事報告

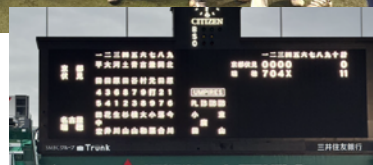
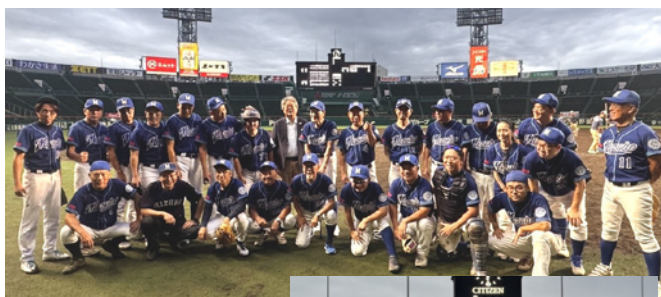
村上 学 幹事

- ・ 9/10(木) 振替により例会変更
9/14(月) 福岡西RC お月見例会 西鉄グランドホテル
受付17:00 例会17:30 ※二次会会場は当日連絡
- ・ 9/15(火) 懇親ゴルフ会
古賀ゴルフ・クラブ 8:00スタート
- ・ 9/17(木) リスペクト例会 12:30～ 熱田神宮会館 1F「桃李」
第3回理事会 13:40～ 1F「春鼓」
- ・ 9/24(木) R規定により休会

委員会・同好会報告

野球部会

先日、甲子園で京都伏見RCと対戦し、11対0で大勝いたしました!!



皆さん、こんにちは。本年度2760地区ガバナーを努めさせていただきます國府谷俊盛と申します。名古屋東RC所属でございます。昨日の大雨ですが、名鉄で帰ってまいりまして金山で降り、そこから車で瑞穂の方へ向かいましたが、これが30分ほど遅かったら大変だったかなというような雨でございました。桜山や石川橋のあたりも車がタイヤの半分ほどまで浸かっており、こんなことがやはりあるんだと、気候変動の恐ろしさを感じたところでございます。



いつも公式訪問の冒頭でお話し申し上げているのが熊本の件でございます。7月28日、大きな地震とともに大きな被害が起きました。八代市は水の町・井戸の町といわれ、約4万世帯が井戸を頼って生活されている地域でございます。急速な復旧のもと、今は5000世帯を残すところまでになってまいりました。地元の方は手一杯ですので、全国のガバナー会でも井戸の掘削業者を一生懸命探しております。

当地区におきましても、ガバナーの一存でまず100万円を地区から送らせていただきました。各クラブにお願い申し上げました募金活動は9月中旬をもって締め切り、9月中にはお送りいたします。皆さん方もどうぞお気をつけてお過ごしいただければと願うところでございます。

ガバナーの役目は、各クラブに行き監査をしていこうと言われる場合もありますが、私は各クラブで一生懸命やっておられることをたくさんキャッチさせていただいて、地区内のクラブに還元させていただくことだと思っております。そうした意味で、名古屋南さん、名古屋瑞穂さんは本当に伝統のある、会員数もしっかり保たれている素敵なクラブだと感じさせていただきました。親睦活動もしっかりやっておられて、和気あいあいとされた、とても素晴らしい2つのクラブでございます。

名古屋南クラブ様には、ホストクラブとして片桐会長はじめ皆様、設営ありがとうございました。吉川パストガバナーには地区で大変お世話になり、私個人的にもガバナーになるにあたってご指導を賜りました。70周年、おめでとうございます。17の委員会をまとめて結束を図ろうとされていること、社会福祉協議会と共同された「言葉と遊ぼう」という社会奉仕活動のこともお聞きし、築かれた大きな力を社会貢献に使っていただけるのだと感じました。

名古屋瑞穂ロータリークラブ様では、近藤パストガバナーにご挨拶させていただき、私の幼稚園にお子さんをお通わさせていただいて母がお世話になったと伺い、大変恐縮いたしました。野崎様にもわざわざご挨拶を賜り、重ねて御礼申し上げます。

瑞穂ロータリーさんの「そしてより強い、より良いロータリーをつくろう」。この「より強い」という言葉を使っておられるクラブは、すべてのクラブ計画書を見た中で一つしかありませんでした。とても心強く、頼もしく感じております。社会活動では、ひばり荘の子どもたちへの支援。たまたま私の学区にひばり荘がございまして、小学校の卒業式で施設長さんから「こんな良い活動を毎年してくれる人たちがいるんですよ」と何年も伺っておりました。今日それが瑞穂ロータリークラブだったと初めて知り、改めて御礼申し上げます。

今年度のRIテーマは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。私が今までのRI会長になかった言葉として衝撃を受けたのは、ババロア会長が個人の変容について語られたことです。ロータリーに入ってあなたがどう変わりましたか。ご

家族が、会社が、周りの方たちがどう変わったのか。今年のあなたより来年のあなたが、より良き変容をしていくことを求められているのだと受け止めました。

私の地区方針は「元気で なかよく 楽しく そして高潔に」、サブタイトルは「新たな視点からの挑戦」です。

第一に職業の全う。自らの職業倫理観を持って職業を全うすることで社会貢献をする、その原点に立ち戻っていただきたい。第二に親睦の深まり。奉仕活動は一人ではできません。創立者ポール・ハリスも、ロータリーの一丁目一番地は親睦だと述べています。そして高潔さ。バッジをつけているかどうかに関わらず、一人一人の行動が世間に問われます。

今年度の大きなテーマは「日本の子どもたちのために」です。国連の子どもの権利条約には、差別の禁止、子どもの最善の利益、生きる育つ権利、意見の尊重という4つの柱がございます。令和6年の小中高生の自殺者数は529人と過去最多を更新しました。G7の中で人口10万人あたりの自殺者数は日本が1位でございます。児童虐待の相談対応件数は22万3691件。いずれも増えています。あるクラブの会長が、ひとり親家庭などの子どもに夢を尋ねたところ「映画館でポップコーンを持って映画を見たい」と答えたそうです。その会長さんは映画館を借り上げ、子どもたちに映画を見せられました。身近な夢しか語れない子どもたちがこんなにいることを、私たちは知らなければなりません。

来年5月にはロータリードネーションフェスタを開きます。一番の目的はポリオの根絶ですが、加えて日本の子どもたちへの支援の募金活動も行います。年次基金150ドル、ポリオプラス基金30ドルに加え、今年は恒久基金20ドルをあえて挙げさせていただきました。その運用益は世界の課題解決に使われ、10年、20年先、孫の世代が使えるお金かもしれません。女性会員の増強もぜひお願いいたします。

最後にバタフライエフェクト。小さな蝶の羽ばたきが遠い街でハリケーンを起こすという言葉です。私たちの小さな20ドル、30ドルの羽ばたきが大きな大河となり、世界平和や子どもたちの環境の充実につながることを願うばかりでございます。両クラブのますますのご発展を祈念申し上げ、ガバナーの卓話とさせていただきます。

例会のご案内

■今 週 9月10日（木）振替により例会変更

■次 週 9月17日（木）リスペクト例会
場 所：熱田神宮会館 1F「桃李」12:30～

■次 週 9月24日（木）休会（R規定による）